

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月14日

上場会社名 株式会社Fast Fitness Japan 上場取引所 東  
コード番号 7092 URL <https://fastfitnessjapan.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山部 清明  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部ゼネラルマネージャー (氏名) 佐藤 数馬 (TEL) 03-6279-0861  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,821	8.6	2,000	22.6	2,100	28.1	1,330	29.9
2023年3月期第2四半期	7,200	13.4	1,631	6.6	1,639	5.2	1,024	0.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,331百万円(29.9%) 2023年3月期第2四半期 1,024百万円(0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	71.11	70.18
2023年3月期第2四半期	54.80	54.08

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,416	12,295	57.4
2023年3月期	21,195	11,221	52.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,295百万円 2023年3月期 11,221百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	4.1	3,100	△7.9	3,000	△11.8	1,600	△16.4	85.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	18,739,180株	2023年3月期	18,719,980株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	15,036株	2023年3月期	14,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	18,712,698株	2023年3月期2Q	18,695,026株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実績の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー損益計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、『ヘルシアプレイスをすべての人々へ!』を企業理念として掲げ、24時間型フィットネスジムの日本におけるパイオニアであるエニタイムフィットネスの運営を通じて「誰もが健康的に暮らせる、心豊かな社会」の実現を目指し、店舗網の拡大や会員数の増加等、積極的な事業拡大を推進しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループが属するフィットネス業界におきましては、低価格帯ジムを含め活況を呈しており、引き続き24時間型フィットネスジムへの需要は増大傾向にあります。一方で、エネルギー価格の上昇による店舗運営コストの上昇や異業種との物件取得の競争は、店舗賃料の高騰など厳しい環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループの運営するエニタイムフィットネスは、2023年9月に店舗数1,100店舗、会員数80万人となりました。加えて1店舗当たりの平均会員数も737人（前年同期比6.8%増）と堅調に推移しており、コロナ前の1店舗当たりの会員数の平均811人の90%に回復しており、既存店舗の回復を実感したFCオーナー様の出店意欲は高くなっております。一方で、前述のコスト高騰の影響も踏まえ、店舗開発においては物件の精査と優良物件の収集に一層努めております。

さらにエニタイムフィットネスのブランド認知の向上や新規会員数の増加策として、TVCMの継続やSNSを活用した広告活動に加え、直営店では都心部を中心とした新規入会獲得のキャンペーンの実施など積極的に行ってまいりました。

また、当社グループは、24時間型フィットネスジム業界のトップランナーとして培った出店ノウハウを活かした店舗開発と、当社の強みである有人スタッフ（無人時間帯もあります）による「安全」「安心」「清潔」「快適」なワークアウト環境を提供することで会員様の顧客満足度の高い店舗運営を推進しました。加えて直営店舗においては、収益性を重視した徹底したコスト管理に努めた店舗運営を推進したことにより売上原価が改善しました。

このような活動が奏功し、2023年9月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

## 1. エニタイムフィットネス店舗数

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結 会計期間末 (2023年9月30日)
		出店数	退店数	
店舗数合計	※1 1,068	35	2	1,100
内、直営店舗数	※1, 2 171	0	0	170
FC店舗数	※2 897	35	2	930

※1. 2023年3月31日付で退店した店舗1店舗を含んでおります。

※2. FCから直営店舗へ承継した1店舗を含んでおります。

## 2. エニタイムフィットネス会員数

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (2023年9月30日)	増減率 (前連結会計年度末比)
会員数合計	74.0万人	81.1万人	9.6%
内、直営店会員数	11.1万人	11.8万人	6.4%
FC店会員数	62.8万人	69.2万人	10.1%

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,821百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は2,000百万円（同22.6%増）、経常利益は2,100百万円（同28.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税を644百万円計上したこと等により1,330百万円（同29.9%増）となりました。

また、当社グループは、2023年11月14日に『中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）』を公表いたしました。

『中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）』では、最終年度である2026年3月期に、売上高195億円、営業利益34億円を目標としており、以下を中期的にめざす姿として掲げ、さらなる業容拡大を積極的に進めてまいります。

■中期的にめざす姿

- ① 新規出店による事業規模のさらなる拡大
  - ・中期的に1,400店舗をめざした出店の推進
  - ・同業他社のM&Aによる店舗数拡大も積極的に検討
- ② 既存店舗の収益性向上
  - ・既存店舗における会員数の拡大に向けたプロモーションと、顧客満足度向上
- ③ 新たな顧客体験の創造によるブランド価値向上
  - ・エンタインメント・顧客資産を活かした新サービス（物販など）の展開により、ブランド価値をさらに向上させる
- ④ 新たな成長領域の開拓
  - ・海外進出・新ブランド展開などにより、新たな成長領域を開拓

当社グループは、エンタインメントフィットネスのブランド価値を最大限に活かし、FCオーナー様並びに会員の皆様を選び続けたい魅力ある店舗運営を推進し、組織体制やガバナンスの強化を図ることで企業価値向上を目指してまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ221百万円増加し、21,416百万円となりました。これは主に、現金及び預金が633百万円増加したこと等により流動資産が533百万円増加したこと、並びに、繰延税金資産が12百万円減少したこと等により固定資産が312百万円減少したことによるものです。

#### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ852百万円減少し、9,121百万円となりました。これは主に、未払金が175百万円減少したこと、並びに、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が782百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,073百万円増加し、12,295百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,330百万円を計上したことによるものです。この結果、自己資本比率は57.4%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、10,316百万円となり、前連結会計年度末に比べて632百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は1,752百万円（前年同期は1,024百万円の資金の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,986百万円、減価償却費が405百万円あったのに対し、法人税等の支払額565百万円及び長期未払金の減少が84百万円あったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は56百万円（前年同期は446百万円の資金の支出）となりました。これは主に、直営店の出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が134百万円、敷金及び保証金の差入による支出が85百万円あったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は1,063百万円（前年同期は1,005百万円の資金の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が781百万円、配当金の支払額が280百万円あったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月15日に公表しました業績予想を変更しました。詳細につきましては、2023年11月14日公表しました「2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想から変更ございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,683	10,316
売掛金	1,118	1,059
商品	283	219
前払費用	355	381
その他	475	501
貸倒引当金	△22	△50
流動資産合計	11,894	12,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,437	7,473
工具、器具及び備品	3,857	3,802
減価償却累計額	△5,072	△5,298
土地	0	0
建設仮勘定	1	5
有形固定資産合計	6,226	5,983
無形固定資産		
のれん	98	84
ソフトウェア	38	10
その他	4	3
無形固定資産合計	141	98
投資その他の資産		
投資有価証券	2	3
長期前払費用	558	547
敷金及び保証金	1,325	1,418
繰延税金資産	701	689
長期貸付金	248	247
その他	97	0
投資その他の資産合計	2,933	2,906
固定資産合計	9,300	8,988
資産合計	21,195	21,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	52	28
1年内返済予定の長期借入金	1,569	1,500
未払金	792	617
未払法人税等	637	716
契約負債	1,895	1,889
賞与引当金	208	195
役員賞与引当金	16	5
その他	272	422
流動負債合計	5,445	5,376
固定負債		
長期借入金	3,239	2,526
資産除去債務	1,091	1,099
その他	198	118
固定負債合計	4,528	3,745
負債合計	9,974	9,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,183	2,195
資本剰余金	2,123	2,135
利益剰余金	6,960	8,010
自己株式	△46	△47
株主資本合計	11,220	12,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益累計額合計	0	1
純資産合計	11,221	12,295
負債純資産合計	21,195	21,416



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	7,200	7,821
売上原価	4,137	4,208
売上総利益	3,062	3,613
販売費及び一般管理費	1,431	1,613
営業利益	1,631	2,000
営業外収益		
受取手数料	26	21
受取保険金	12	84
為替差益	-	0
違約金収入	17	14
その他	0	1
営業外収益合計	56	122
営業外費用		
支払利息	18	13
株式交付費	0	0
為替差損	28	2
支払手数料	1	1
その他	0	4
営業外費用合計	47	22
経常利益	1,639	2,100
特別利益		
預り保証金返還免除益	12	-
事業譲渡益	-	11
特別利益合計	12	11
特別損失		
固定資産除却損	2	50
減損損失	60	74
資産除去債務履行差額	-	1
特別損失合計	63	125
税金等調整前四半期純利益	1,588	1,986
法人税、住民税及び事業税	485	644
法人税等調整額	78	11
法人税等合計	563	656
四半期純利益	1,024	1,330
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,024	1,330

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,024	1,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	1,024	1,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,024	1,331

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,588	1,986
減価償却費	482	405
減損損失	60	74
のれん償却額	12	13
株式報酬費用	10	10
預り保証金返還免除益	△12	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27	△13
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△11
受取利息及び受取配当金	△0	△0
受取保険金	△7	△81
支払利息	18	13
固定資産除却損 (△は益)	2	50
資産除去債務履行差額	-	1
事業譲渡益	-	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	38	58
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△38	63
仕入債務の増減額 (△は減少)	△93	△24
前払費用の増減額 (△は増加)	△15	△11
長期前払費用の増減額 (△は増加)	21	11
契約負債の増減額 (△は減少)	△11	△5
未払金の増減額 (△は減少)	△149	31
長期未払金の増減額 (△は減少)	△27	△84
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△189	△24
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△176	△149
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	0	0
小計	1,519	2,330
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△18	△13
法人税等の支払額	△476	△565
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,024	1,752

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△471	△134
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
固定資産の除売却による収支 (△は支出)	0	△2
資産除去債務の履行による支出	-	△5
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△9	△85
敷金及び保証金の回収による収入	0	0
保険積立金の解約による収入	23	178
事業譲渡による収入	-	15
事業譲受による支出	-	△26
その他	8	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△446	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△817	△781
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△186	△280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,005	△1,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△428	632
現金及び現金同等物の期首残高	9,457	9,683
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,029	10,316

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月23日開催の取締役会決議により、2023年7月21日を払込期日とした譲渡制限付株式報酬制度としての新株式の発行を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が12百万円、資本準備金が12百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,195百万円、資本準備金が2,135百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは「エンタイムフィットネス」の単一ブランドで、国内においてフィットネスクラブの店舗展開をしており、事業区分は「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは「エンタイムフィットネス」の単一ブランドで、国内においてフィットネスクラブの店舗展開をしており、事業区分は「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。